

紅葉 赤——葉。

木綿 「綿」の手まねをして、袖の上をさする（ざらざらした感じを出す）

貰う 両手を重ねて物を頂く身振。

森 「林」と同じ手まね。

漏れる 掌を上に向けて五指を彎曲した左手の下からこれも掌を上に向け五指を彎曲した右手を上下させる。左手（器物）の中から物が漏れる様。

門 「開く」「閉じる」と同じ要領の手まねで表わす。

問題 考え
相談 V 揭示。

ヤ

やがて 少し——未来。

野球 (1)左手の親指と人差指で輪にしたのを（ボール）右手人差指（バット）で打つ。

(1)両手でバットを持ち球を打つ身振。

役 「責任」と同じ手まね。

役員 「委員」と同じ手まね。

妬く 「嫉妬」「猜む」と同じ手まね。

厄介 「面倒」と同じ。

役者 芝居——人。

役所 「政治」と同じ手まね。

約束 両手の小指を結び合わせて「指切り」をする。

役目 「責任」と同じ手まね。

野心 (1)がめつい——心。(1)「野心作」傑作——工夫。(1)野心を持つ。偉い人持 V なる——考える。

優しい 心——やわらかい。

安い 「金銭」を表わしたそのままの手を下にさげる。

易い 「簡単」或は「へちやら」と同じ手まね。

休み (ハ)「閉じる」と同じ手まね。戸を閉じて休業するの意味。(ウ)「欠席」と同じ手まね。

家賃 家—借りる—金銭。

やっと 遂に—やれやれ。

やつれる 掌を下に向けた両手を拳にした指の背で、左右それぞれ頬につけ、下へすり降す。頬肉がやせこけた。

宿替 「移転」と同じ手まね。

宿屋 寝る—金銭—家。

柳 指頭を上にした左手の親指の上に右手の下向けた掌をまるく被せて、その五指を上下に揺らせる。柳の枝の揺れる様。

野蜜 拳にした左手の腕を(手首の辺り)をくわえ噛む真似。「人喰人種」を表わした手まね。

山 掌を下に向けた両手或は片手にて、山の輪郭を前の空間に描く。

病 拳にした手で額を叩く。頭痛のこと。疼しい 反省—すまないこととした。

闇取引 秘密—商い。

やめる 掌を

上に向け五指の指頭を右にさした左手の上へ、五指の指頭を前方にさし掌を左

側にした右手を直角に叩き降す。

やりくり 不自由—金銭の回転(商いと

同じ要領)

やれやれ 掌を内側にし五指の指頭を左にさした右手を額の上左から右へさすってその手をだらりと下へ降す、「やれやれ」と額の冷汗を拭うこと。

やわらかい 片手でやわらかいゴムまりを持って中の空気を五指で圧さえる身振。ふわ

